令和３年５月【第38号】

DreamGP Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー
【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西 1-3-19
南海日本橋ビル１Ｆ
ＴＥＬ：06-4708-4877
ＦＡＸ：06-4708-4879

【紹介】弊社の取り組みが『日経BP』に取り上げられました !!

去る5月19日（水）、弊社の長年の取り組みが、『日経ＢＰ』に４ページに渡り特集されました。

タイトルは、『足を測る！「靴」もメガネのように〝計測して矯正して〟つくる　健康との関係が強い「足」、適切な靴を選択する時代へ』（「ＢｅｙｏｎｄＨｅａｌｔｈ健康・医療」コーナー内の「【特集】「サイズ」でヘルスケアを攻める」ページ）。

株式会社ドリーム・ジーピーは、健康の維持に不可欠な「歩けること」と「歩けること」に不可欠な適切な靴選びとの関係性に着目することから事業を展開して参りました。

“人生100年時代”は適切な靴で歩けることが健康の要に

２００６年の設立当初に開発した「片足につき約３万点を約15秒で計測するレーザー方式」の三次元足型自動計測機が小売業界で採用されるも、２００８年のリーマンショックを機に医療分野に大きく舵を切り、ある大手介護シューズメーカー様との奇跡的な出会いにより、三次元計測データに基づいたシューズマッチングシステムを実用化しました。

同時に、医療用インソールに着目し、計測データを用いたＣＡＤ設計システムを開発、従来の石膏による足型採型製作から大幅な作業効率化を実現、設計データに基づいて削り出す切削機も開発、計測～設計～製作まで可能な一連のシステム構築でＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）の流れを先取りしました。

また、大手企業様のご協力を得て行った産業労働環境下において安全靴にフルカスタムインソールを実装した実証実験や地方行政との協同による健康寿命延伸プロジェクト、これら計測データをビッグデータ活用する「ＦｏｏｔＢａｎｋ構想」、女性の長年の悩みであるパンプスの開発等、詳細は下記ＱＲコードからお読み頂ける他、７月10日（土）開催の弊社主催オンラインセミナーでも弊社代表自らがその展望を熱く語ります。乞うご期待！

弊社7月セミナー

日経BP

第14回 Zoom利用による無料オンラインセミナー

2021年6月19日（土）
17：00～19：00

“足から始まる健康”に関心をお持ちの皆様へ

『 バイオメカニクスにおける下肢と身体特性の診方 』

【演題】

1. 17：00～17：10
   弊社代表荒山より、客員講師のご紹介
2. 17：10～18：10
   『 バイオメカニクスにおける下肢と身体特性の診方 』
   客員講師：大西 忠輔 氏（城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 教授、理学療法士、義肢装具士、工学博士）

大西 忠輔 氏

大西氏共著
（つちや書店）

～～～～～～～～休憩（18：10～18：20）～～～～～～～～

3. 18：20～18：40
   『 ナリモが参ります！ ～弊社機器導入企業様インタビュー～ 』
   講師：成毛 喜男（弊社執行役員）
4. 18：40～19：00
   『 義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」サイトのご紹介 』
   講師：中村 美穂（弊社執行役員）

義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」

【お申込み・お問合せ】※お申込み期限：６月17日（木）

主催 ㈱ドリーム・ジーピー
TEL：06-4708-4877／FAX：06-4708-4879
E-mail：info@dreamgp.jp

・「氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス」をご用意の上、ＦＡＸまたはE-mailにてお申し込みください。
　セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用ＵＲＬを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。

【不定期掲載】その９

著者；荒山元秀、島村雅徳、森永浩介
出版社；ライティング
発売日；2017年12月1日

『中小企業の３Ｄ進化論』

序章「デジタル化の波」は到来している！（※前回からの続き）

　すべてのモノがインターネットで繋がるIoT社会が到来しました。

　製造業の現場では産業用ロボットの配備、すなわち「デジタル化」が進められていますが、完全オーダーメイドで制作する義肢装具士の仕事は、現時点において大きな変化は見られません。しかし世界に目を向ければ、義肢装具業界にもデジタル化の波は訪れています。この章では、世界の義肢装具業界の動きと、日本の義肢装具士のデジタル化の必要について、簡単にご説明します。

■経験と技術だけで、安心してはいけない！

　みなさんに質問です。

　「優秀な義肢装具士の条件」とは、何だと思いますか？
　豊富な経験と優れた技術を持っていること――と、思いますか？
　残念ながら、それだけでは不正解です。

　技術と経験は重要です。
　義肢装具士が製作するのは、病気や事故などにより失われた手足の一部または全てを補う「義肢」、そして四肢や体幹の残存機能を一時的または永久的に代償する「装具」です。
　しかし患者さん一人ひとりの身体の形や残存機能、生活スタイル、日常生活や仕事の中で感じている不自由さ、義肢や装具に対するニーズは千差万別です。　　（※次回に続く）